



東地中海地域ニュース

パレスチナ：イスラエル軍幹部の見方

(7月4日付「ハアレツ」紙)

7月3日、クネセット外交防衛委員会におけるパレスチナ情勢に関するイスラエル軍(IDF)参謀総長などの発言。

1. アシュケナージ IDF 参謀総長の発言：

そのうちに、アッバース大統領とマシュアル・ハマス政治局長（注：在ダマスカス）との対話が始まる。ガザと西岸の分離はないであろう。

2. コーヘン IDF 情報部副部長の発言：

(1) ハマスは、この地域における国々との対話の再開を望んでいる。これを可能にする為に、アッバース大統領との対話の再開が不可欠とみている。

(2) ここ数日間、西岸で PA のハマスに対する行動は見られない。日常の生活が戻っている。PA としては、ハマスがガザで失敗する一方、（西岸では）生活が安定していることを示したいと望んでいる。

(3) ハマスは西岸において回復できる。PLC 選挙の時、ハマスがほとんどの都市で勝利したことを忘れてはならない。ハマスが西岸で軍事的になる事を防いでいるのは、PA ではなく、むしろ IDF とイスラエル保安局 (ISA) である。IDF が占領地にいる限り、ハマスはガザと同様な軍事レベルに達することは出来ない。

(4) 西岸及びガザでは、長期継続し得る二つの政府及び二つの団体がある。ガザにおいて人材不足の問題を抱えるハマスは、前 PA 及びファタハ治安部隊の専門家などを徴用し始めた。

(5) ハマスとファタハの衝突の間、マシュアル・ハマス政治局長は支配力を失ったが、現在では、ガザのハマスに送金される資金を握っていることから、支配力を取り戻しつつある。

(6) 現在、ガザのハマスは、主にセキュリティ・フェンス付近での爆発物の設置及び IDF の拠点に対する迫撃砲による攻撃など、限定的なテロ活動を行っている。しかし、イスラミック・ジハードによるカッサム・ロケット攻撃を許している。ハマスがガザにおいて定着すればするほど、ノウハウ、資金、武器を手に入れる力が増大し、軍事力の強化が可能になる。

(7) ガザにおけるハマスの長期的目標は、イスラム法に従った政権の樹立である。そのプロセスは遅く緩やかなものになる。現在、ハマスはまだ、これを実行する為の計画を練っている。